

消防団たずね歩き

灘の副団長は提灯作り名人

今回は、我が灘消防団本団副団長、湯浅治行氏を紹介いたします。

私は、平成11年、当時の第4分団長と部長として活躍されていた湯浅氏からの誘いを受け、灘消防団に入団しました。

入団後は、神戸市消防団小型動力ポンプ操法大会参加、地域の祭りや催し物の警備、救急インストラクター講習、防災訓練、年末特別警戒等、さまざまな活動に参加しています。

第4分団は、地域自治会の協力、支援のもと、年末特別警戒の際には広報カーに乗車し管内の巡回パトロールを実施しています。

その車に「火の用心」「年末警戒中」と書かれた見事な提灯がかかっています。その提灯の製作者こそ湯浅副団長です。

その提灯を眺めていると、改めて提灯という祭り事に欠かせない伝統工芸品の製作という希少な職種を続けておられる湯浅副

団長の姿に感動を覚えました。

古くからの提灯は、紙で出来たものがほとんどでしたが、最近ではポリエチレン製やビニール製といった雨風に強く耐久性があるものが主流になってきています。形も球状や長型、卵型等、いろいろあります。

文字の形状もさまざまで、文字を書く際には細心の注意と緊張、集中が必要です。

多忙な毎日を通される中、湯浅氏は現在は本団副団長という重責にあり、諸団体、学校等でおこなわれる救急講習会へのインストラクター派遣団員の調整をおこないつつ、日本の伝統的文化を継承する仕事に従事されています。湯浅副団長にこれからもますます、頑張っていただきたいと思うのと同時に、我々分団員も地域の安全・安心を守りつつ、明るい社会づくりに貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

(灘消防団 第4分団 副分団長 小西康之)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

